

そ

の

声

で

も

平



そ
の
声
で
名
を
呼
ん
で

- ・ 一期ラスト～二期目までの空百期間のお話です
- ・ 一部設定を捏造しています

十年前
私はそれを
見ていた

実験体として
誘拐された
子供たち
監禁された

彼らは
イグニス
生成のため

毎日ただ
ひたすら
戦うことを
強要されていた

そして何より
まっすぐな
眼差しが
私の心を捉えた

その中に
幼かった私の
目を引いた
少年がいた

拙い戦いの中に
時折見える
発想と工夫

少年が
生きる希望を
失っていく様を
見るのが辛かった

考えるんだ

考えることで
キミはまだ
生きられる

僕はキミの
そばにいるよ

キミは誰？

どうして
いるの？

生きるための
三つのこと

敵を倒す
三つのこと

帰るための
三つの事

いつか
モーター越し
ではなく直接
話したい
会って話した

叶うことは
無いのだとも
思っていない

私は彼を
忘れられないまま
十年を過ごした





おい
お前!!



知り合い?

そんな様子
じゃない

アッ



あいつが
バカな真似を
するとは思
えない

だが…



急な
君は何
だね

見
了!

わは
私……



それは
私の
連れだ

そいつを
何処へ
連れて
行く気だ!?



声をかけて
正解だったな

ロクな
こと？

そうだ

お前は目的を
前にすると
周囲が見えなく
なるよ
あるようだな

気を付ける
ことだ

お前おそろく
あの男に
ついて行ったら
ロクなことにな
らなかつたぞ

肝心の店が
見つから
なくてなら

この辺りに
今作っている
マシンに必要な
パーツが売って
いる店がある
らしいんだが

それで
何処へ行く
つもり
だったんだ？

ああ

場所は
間違っていない
はずなんだが

どこの
店だ？

地図を
見せろ

ここだ



どうりで
いくら店を
探しても
みつからない
わけだ

折角来たのに
無駄足
だったか



この店は
前にには
少しいた
らしは

地図情報の
更新が遅れ
ているのだ
な

そうなのか!?



っ!!

は、

了見?



昨日こちらに一時的に帰ってきただけだ

今日は時間がある

お前も何か用事があるんじゃないのか？

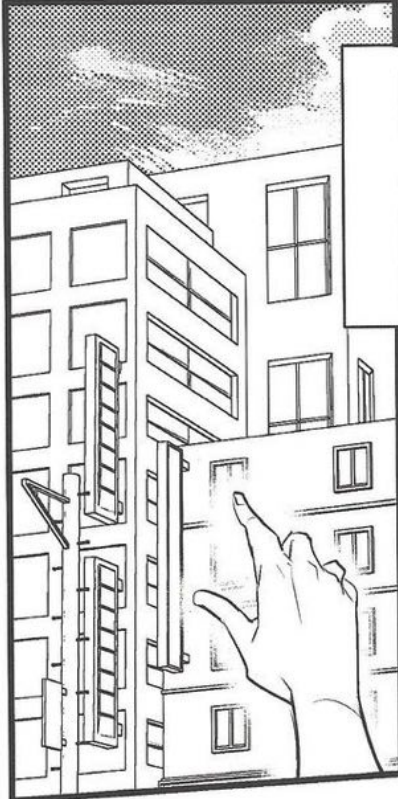
とお前かお前か帰ってきたのか

それなら頼む



安心しろ

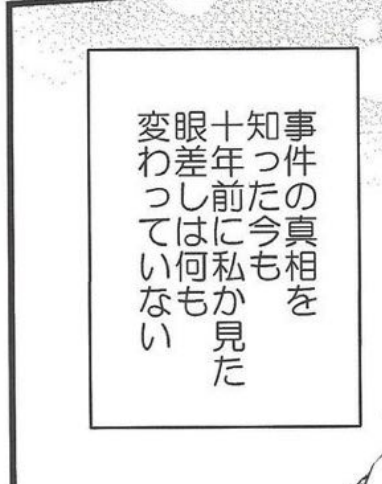
移転先は遠くないから私が案内しよう



変わっていない



…ああ



事件の真相を知った今も十年前に私が見た眼差しは何か変わっていない



.....



ありがとうございます

お前の
おかげで
目当ての
ものが
買えた

ああ



：特に
用は無い



遊作
お前はその後
どうするんだ？



ポッ

そうか

ならば
私と



少し降りそうだな

天気予報では晴れだと言っていたのに

傘なんて持ってきていない

雨?



え?



近くに私が拠点として使っている部屋がある

急げば濡れずに済む

あああ

いいのか?



遊作

私のところに来るか?



私がそう
したいんだ

構わない



了見...?



随分
降つて
きたな

あのまま
帰っていたら
ずぶ濡れに
なつてパーツも
ダメにしていた
かもしれない

お前に
ついて来て
良かった

道を尋ねる
相手は最悪
だった上

しかし
今日のお前は
よついでない

雨に降られて
こんなところで
足止めとは

それでも
ない

欲しかった
パーツは
ちやんと
手に入ったし

雨に濡れた
わけでも
ないし

お前に
会えた



デュエルの時も
思ったが
お前はいつも
率直にモノを
言うな

私達が
お前に何を
忘れたのかを
ではあるまい

ああ

だが俺が
お前の言葉に
救われて
生きてきた
ことも事実だ

だから
俺はお前に
会った

こうして
話す機会を
得られたん
だから

『ついてない
なんてことは
ないと思う』

それは
私も同じだ

十年前から
引きずってきた
この気持ちは

そうか…
そうだな…

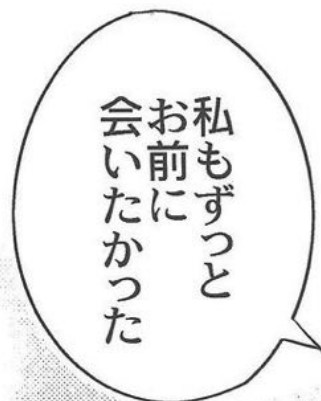
私も



遊作



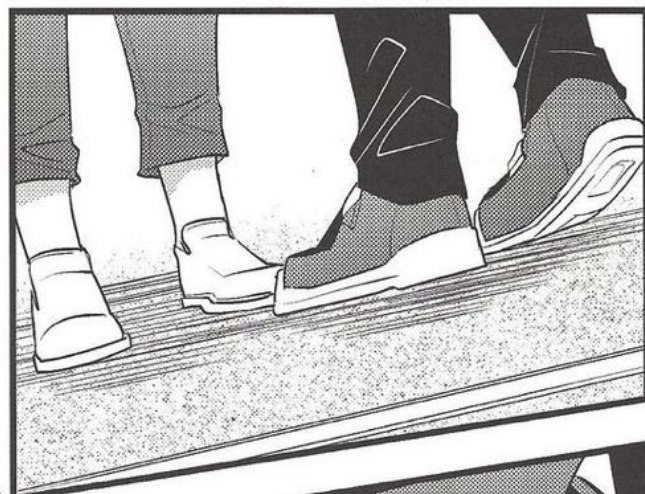
同じなんだ



私もずっと
お前に
会いたかった



十年間
一日たりとも
お前を忘れた
ことは無かった



それは
こつちの
台詞だ



どれだけ
お前のこと
を探したと
思ってる

これから
連絡は
ちやんと
よこせ

心配する

ああ



たまには
顔を見せに
来い

ああ



俺はお前が
好きだ

ああ



んっ

ちゅ...

ちゅ...

.....



私もだ

ちゅ

ちゅ...



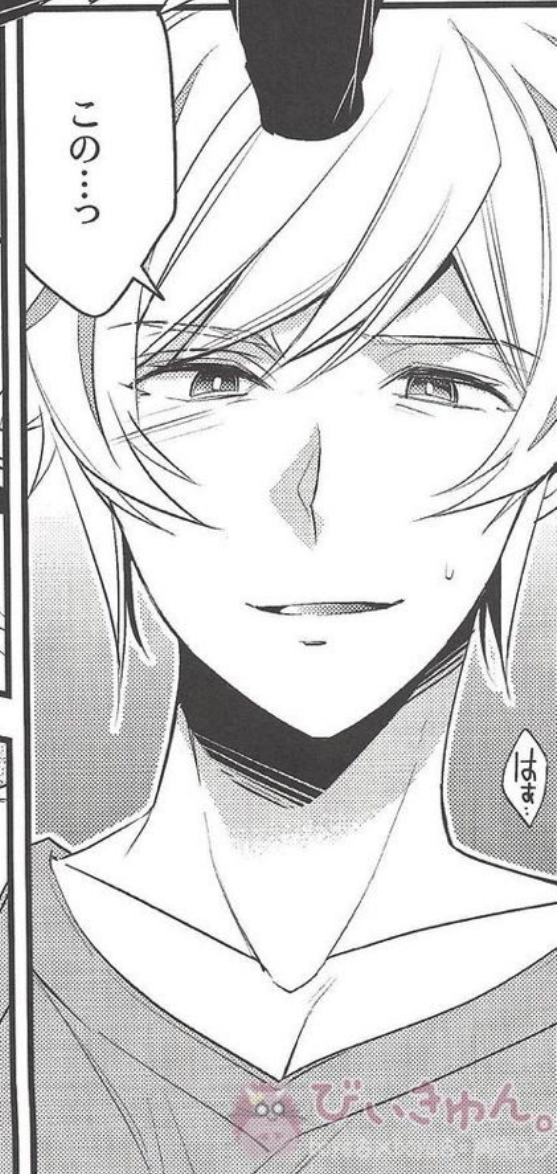
っあ...

ちゅ

ちゅ

ちゅ







はま
今日ぐらい
全部私に
させろ

遊作
力を
抜いている







おれ...

ちが...う

どうした?

ここまできて
止めるのは
無しだぞ

ああ

そういえば
お前は私の
頼りに私を
探したの
だつたな

遊作

おまえの
こえ...

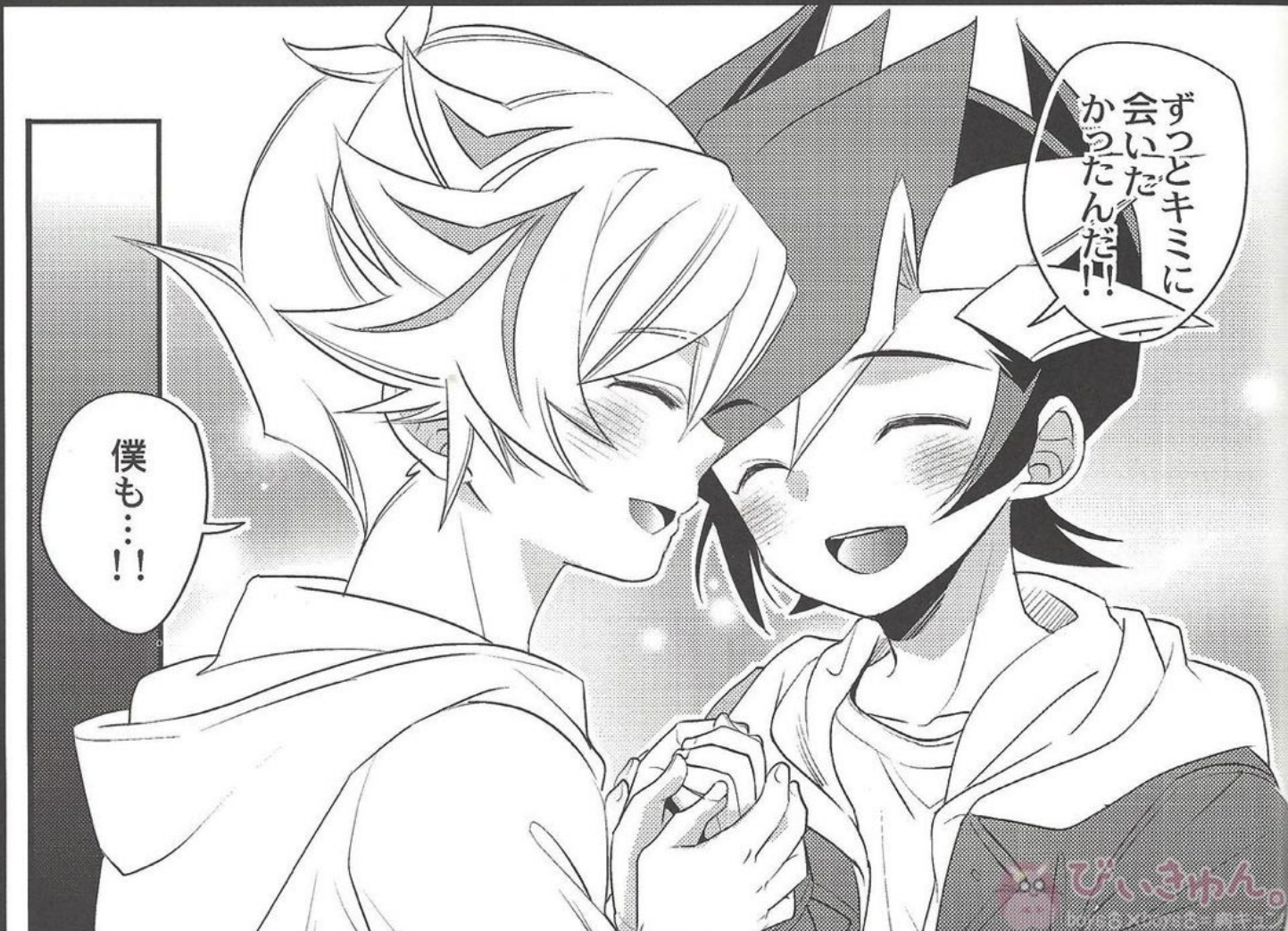
すき...

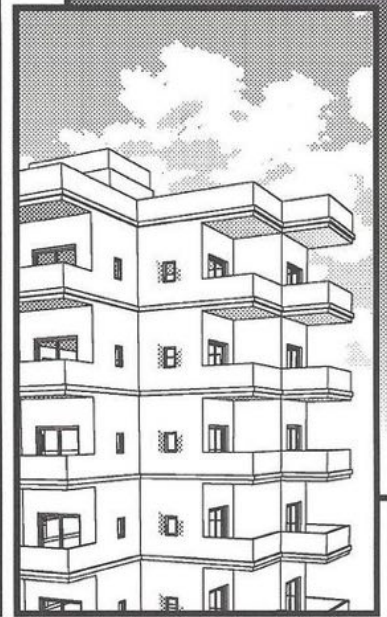
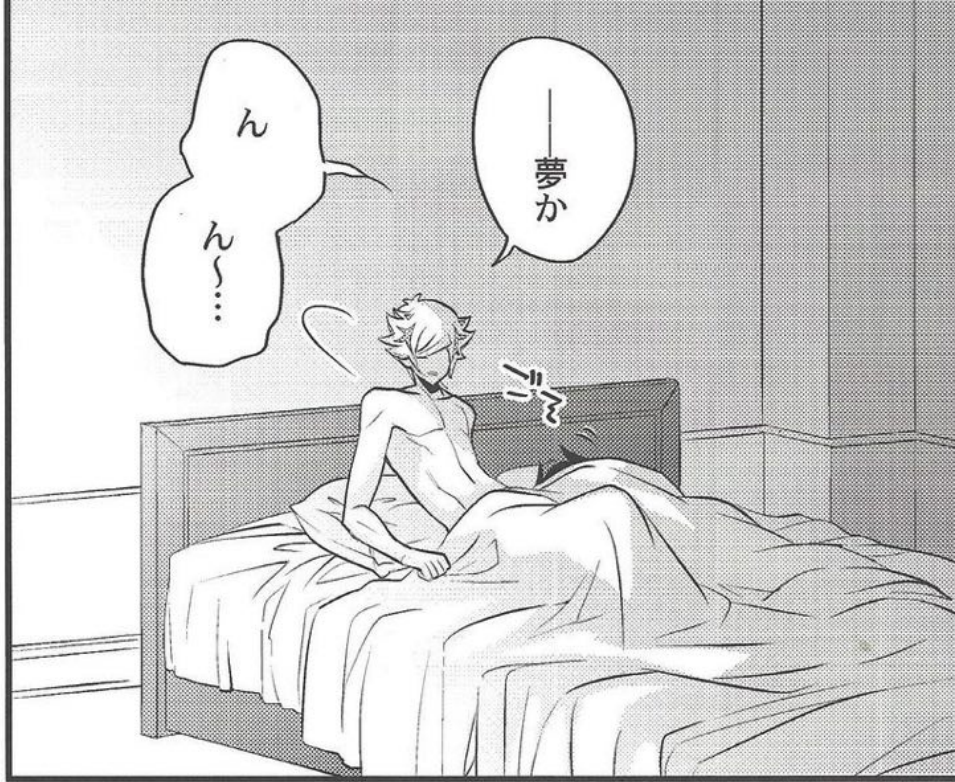
だから

いま

なまえ...
よばれる...
と...







END

2018/5/4
[その声で名を呼んで]
遊戯王 VRAINS
鴻上了見 × 藤木遊作 FANBOOK

東道場・東ひろた

fwks2810@mb.infoweb.ne.jp
<https://pixiv.me/pol0320>

印刷:コーシン出版 様

原作関係者様、制作会社様とは一切関係の無い二次創作です。
無断転載、ネットオークション、オークションアプリ出品禁止。



両片思いの了見と遊作のお話。



その声で名を呼んで

YGO-VRAINS

鴻上了見×藤木遊作

FANBOOK AZUMADOHJYO



びいきゅん。